

# 横浜市感染症発生動向調査報告 12月

## 《今月のトピックス》

- 例年より早い時期に感染性胃腸炎流行警報が発令されました。
- 例年より早い時期にインフルエンザの流行期に入りました。
- 流行性耳下腺炎の報告が例年より多い状態が依然として続いています。

### ◇ 全数把握の対象

#### 〈12月期に報告された全数把握疾患〉

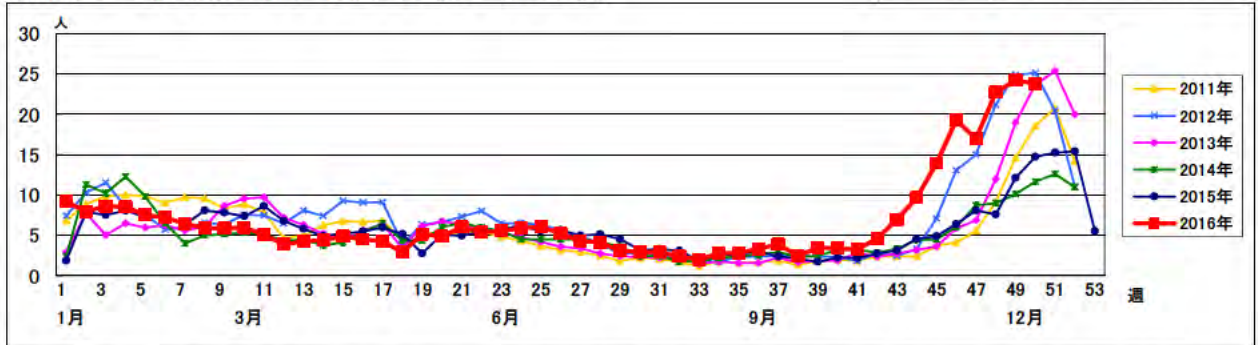
腸管出血性大腸菌感染症	5件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
A型肝炎	2件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
ジカウイルス感染症	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	6件
デング熱	1件	ジアルジア症	1件
レジオネラ症	7件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
アメーバ赤痢	10件	侵襲性肺炎球菌感染症	14件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8件	梅毒	11件
急性脳炎	1件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1件

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: 共通食品の喫食によるO157の報告が4件(うち1件はHUS、1件は無症状病原体保有者)、O111の報告(無症状病原体保有者)が1件でした。
- 2 A型肝炎: 2件の報告があり、1件は国内、1件は国内またはチリでの感染が推定されています。
- 3 ジカウイルス感染症: 1件の報告があり、キューバでの蚊からの感染が推定されています。
- 4 デング熱: 1件の報告があり、フィリピンでの蚊からの感染が推定されています。
- 5 レジオネラ症: 7件の肺炎型の報告がありました。
- 6 アメーバ赤痢: 10件の報告があり、うち1件は国内での異性間の性的接触、3件は経口感染(2件は国内、1件は東南アジア)が推定され、6件は感染経路等不明でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 8件の報告があり、感染経路等不明でした。
- 8 急性脳炎: 1件の幼児の報告があり、病原体は不明でした。
- 9 クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型CJDの報告が1件ありました。
- 10 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 2件が報告され、うち1件がB群、1件がG群でした。
- 11 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): いずれも性的接触によるもので、AIDSが2件(同性間が1件、異性間が1件)、無症状病原体保有者の報告が4件(同性間2件、異性間1件、性別不詳1件)ありました。
- 12 ジアルジア症: 1件の報告があり、感染経路および感染地域は不明です。
- 13 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 1件の報告があり、ワクチン接種歴は確認できませんでした。
- 14 侵襲性肺炎球菌感染症: 14件の報告があり、うち0歳児および2歳児についてはワクチン接種歴が確認されました。12件(40~80歳代)では3件がワクチン接種歴を確認できましたが、9件についてはワクチン接種歴を確認できませんでした。
- 15 梅毒: 11件の報告(無症状病原体保有者1件、早期顕症梅毒Ⅰ期4件、早期顕症梅毒Ⅱ期6件)がありました。いずれも国内での感染で、男性9件、女性2件でした。感染経路は、すべて異性間性的接触でした。
- 16 バンコマイシン耐性腸球菌感染症: 1件の報告があり、感染経路等不明です。

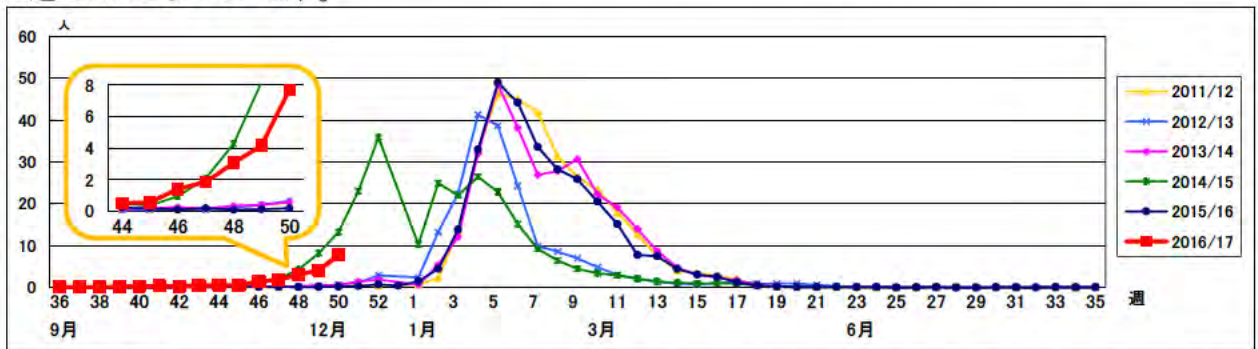
◇ 定点把握の対象

報告週対応表	
第46週	11月14日～11月20日
第47週	11月21日～11月27日
第48週	11月28日～12月4日
第49週	12月5日～12月11日
第50週	12月12日～12月18日

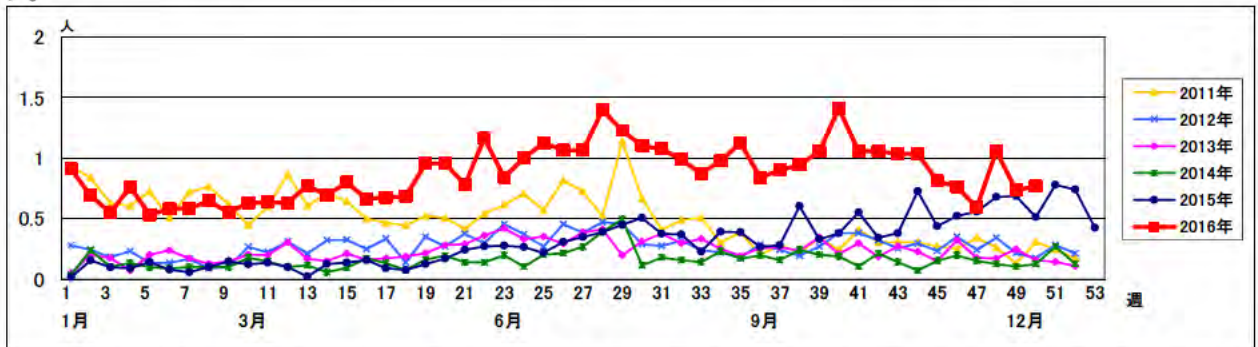
1 感染性胃腸炎：第48週で定点あたり22.73と、例年に比べて早く警報発令基準値を上回りました。保育園、幼稚園等における集団発生も多く報告されており、ノロウイルスGⅡが検出されています。第50週は23.78と依然として報告数の高い状態で推移しています。



2 インフルエンザ：第46週で定点あたり1.39となり、例年に比べて早く流行開始の目安を上回りました。第50週で7.71となっています。



3 流行性耳下腺炎：第50週で定点あたり0.77と、例年に比べて報告が多い状態が依然として続いています。



4 性感染症：11月は、性器クラミジア感染症は男性が27件、女性が6件でした。性器ヘルペス感染症は男性が9件、女性が6件です。尖圭コンジローマは男性4件、女性が3件でした。淋菌感染症は男性が11件、女性が1件でした。

5 基幹定点週報：マイコプラズマ肺炎は第46週1.00、第47週1.67、第48週1.75、第49週0.50、第50週1.75と報告されています。インフルエンザによる入院は第46週0.33、第47週0.67、第48週1.50、第49週0.75、第50週2.75と報告されています。無菌性髄膜炎は第46週0.00、第47週0.00、第48週0.25、第49週0.00、第50週0.00と報告されています。感染性胃腸炎（ロタウイルスによるもの）は第46週0.00、第47週0.00、第48週0.00、第49週0.25、第50週0.00と報告されています。細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

6 基幹定点月報：11月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が5件で、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

12月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点44件、内科定点13件、眼科定点2件、基幹定点6件で、定点外医療機関からは3件でした。

1月10日現在、ウイルス分離36株と各種ウイルス遺伝子16件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(12月)

分離・検出ウイルス	主な臨床症状	上気道炎	下気道炎	インフルエンザ <sup>*1</sup>	アデノ感染症 <sup>*2</sup>	胃腸炎	無菌性髄膜炎	ウイルス性肺炎
インフルエンザ AH3型				30				1
インフルエンザ B型ビクトリア系統				1				
インフルエンザ B型ビクトリア系統				3				
アデノ 2型					1			
アデノ 4型	1							
パラインフルエンザ 1型				1				
パラインフルエンザ 2型	1	1						
RS	2							
ヒトメタニューモ				1				
ヒトコロナ <sup>*3</sup>	2	1		1		1		1
ボカ	1							
ライノ	1							
エコー 6型							1	
合計	1	0		33	1	0	0	1
	7	2		4	0	1	1	1

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

\*1:疑いを含む、\*2:咽頭結膜熱を含む、\*3:HCoV-229E or NL63、HCoV-OC43

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

12月の感染性胃腸炎は、小児科定点から1件、基幹定点から7件、その他が2件で、腸管毒素原性大腸菌(O6:H16,LT&ST、O6:H16,ST)が2件、腸管出血性大腸菌(O26:H+,VT1)と腸管病原性大腸菌(O169:H-,aggR)および*Campylobacter jejuni*が1件ずつ検出されました。

その他の感染症は、小児科定点から2件、基幹定点から4件、その他からが16件でした。その他のG群溶血性レンサ球菌の3株は劇症型溶連菌感染症の患者から検出されました。バンコマイシン耐性腸球菌はvanB遺伝子保有の*Enterococcus faecalis*でした。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(12月)

感染性胃腸炎								
菌種名	検査年月		12月			2016年1月～12月		
	定点の区別		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
	件数		1	7	2	5	112	93
赤痢菌						1	2	
腸管病原性大腸菌			1			2		
腸管出血性大腸菌					1	8	67	
腸管毒素原性大腸菌			2			4		
腸管凝集性大腸菌						2		
チフス菌						2		
サルモネラ						3	25	
カンピロバクター					1		3	
黄色ブドウ球菌						1		
NAGビブリオ							1	
不検出			1	4	0	2	67	
その他の感染症								
菌種名	検査年月		12月			2016年1月～12月		
	定点の区別		小児科	基幹	その他*	小児科	基幹	その他*
	件数		2	4	16	37	52	462
A群溶血性レンサ球菌	T1					6	3	
	T3					1		
	T4					2		
	T6					1		
	T12					3	1	
	T B3264					1	10	
	型別不能		2			16	2	
B群溶血性レンサ球菌							3	
G群溶血性レンサ球菌					3	3	9	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌						4	1	
バンコマイシン耐性腸球菌					1	1	25	
レジオネラ属菌						2	6	
インフルエンザ菌					1		7	
肺炎球菌					1	6	42	
黄色ブドウ球菌						1		
結核菌							244	
百日咳菌				1		3		
ボツリヌス菌							1	
その他				3	10		19	
不検出			0	0	0	6	14	

\*: 定点以外医療機関等(届出疾病の検査依頼)

T(T型別): A群溶血性レンサ球菌の菌体表面のトリプシン耐性T蛋白を用いた型別方法

【 微生物検査研究課 細菌担当 】